別紙３－３

＜ 運営推進会議における評価_様式例 ＞　※公表用

【事業所概要】

法人名	医療法人　健康会	事業所名	看護小規模多機能型居宅介護 いちご日和
所在地	（〒　910－　0856　） 福井市勝見３丁目 20-12　いちごの森１Ｆ		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

複合サービスの特徴を活かしながら、医療ニーズの高い方、終末期対応が必要な方、生活全般を支えていくことが必要な方の受け入れを行っています。 ご本人の状態に応じながら、レクレーション活動や季節に合わせた外出、併設している児童クラブとの交流活動なども行っています。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦　2019　年　10　月　31　日	従業者等自己評価 実施人数	（　　）人　　※管理者を含む

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦　2020　年　1　月　20　日	出席人数（合計）	（　5　）人　　※自事業所職員を含む
出席者（内訳）	☐自事業所職員（　2　人）　☐市町村職員（　　人）　☐地域包括支援センター職員（　1　人）　☐地域住民の代表者（　2 人） ☐利用者（　　人）　☐利用者の家族（　　人）　☐知見を有する者（　　人）　☐その他（　　人）		

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目		前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
Ⅰ．事業運営の評価 （評価項目 1～10）			・職員の中長期的な育成計画 ・研修機会の確保 ・各研修の実施 ・朝礼・終礼・ミーティング ・インシデント検討会 ・介護事業部委員会による介護技術のテスト・技量の把握 ・緊急連絡網の更新 ・災害マニュアルの確認 ・食品備蓄の継続	・スタッフ間の情報共有を密に行ってほしいとの意見をもらっている。利用者等の情報については、朝礼・終礼、ミーティングの中で、日々の状態変化や注意、観察点等について共有を行い、状態変化や、ケア方法について臨機応変に対応行い、ケアプランへ反映している。 ・職員の研修は今後も継続しスキルアップを目指す。 ・会議での家族の発言は「利用を決断した際の期待」通りに運営されている発言が多く、施設としてみずからの「基本理念」が貫かれている結果だと思います。
Ⅱ．サービス提供等の評価	１．利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供（評価項目 11～27）		・月１回のタリングを行い、家族・主治医への報告 ・月１回アセスメント ・Ns による研修会 ・利用者・家族から相談 ・介護認定更新等や状態変化時に担当者会議の開催	利用者の特性・変化についてスタッフ間での情報共有を密に行い、専門的なサービス提供が行えている。利用者の状況は日々変わることも多々あるので、在宅生活の維持に可否や終末期ケア等、今後の状況を予測し具体的な意向確認や事業所内での話し合い等継続していく必要。 ・介護事故ゼロというより、利用者一人毎に「防ぐべき事故」と「何としても防げない事故」に分け「防ぐべき事故」を徹底的に防止することを行っていけば、利用者家族の理解も得られ、介護のパー

				トナーになってもらえるのではないでしょうか。
	２．多機関・多職種との連携（評価項目 28～31）		・2 月に 1 回運営推進会議の実施 ・入院時、退所時に関係機関へ情報提供の実施 ・入院中の病状説明に同席し退院後の準備する ・退院前カンファレンス・退院前外出同行に参加し課題等病院スタッフと共有、検討の実施 ・病態確認や相談、情報共有等必要に応じて利用者の受診同行 ・月 1 回モニタリングを行い、家族・主治医へ報告	・ケアマネを中心にかかりつけ医との連携を図り、他職種との情報共有を図っています。 24 時間緊急時対応についても、訪問看護と連携を図り対応を行っています。 今後も医療ニーズの高い方への受け入れ、対応の充実を図ってもらいたい。
	３．誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画（評価項目 32～41）		・地域活動への参加 ・地域包括ケアに対する研修の実施	街づくりへの参画は未整備。包括支援センターとも更なる連携を図り、安心して暮らせるまちづくりに向けて積極的な問題提起を連携しながら行う。 当事業所は新しい事業展開の中で今日とは違った形での地域との関わり合いが出てくるものと期待している。
Ⅲ．結果評価 （評価項目 42～44）			・現状、利用者ごとのサービス計画目標の達成は得られている。	・利用者毎の目標に具合性をもたせ、個々の状況に応じたサービス提供の継続を図る。 ・「職員のストレスケア」への配慮がなされているかが、堅実で底堅い事業体となっていく一番の要素になる。

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目		評価結果	改善計画
Ⅰ．事業運営の評価 （評価項目 1～10）		中長期的な人材育成計画、研修参加（院内外）の確保は行なえている。	・看多機の特徴を踏まえた事業運営を職員間で明確にする。具体的には理念に付け加える、または基本指標を策定し、スタッフに周知する。
Ⅱ.サービス提供等の評価	１.利用者等の特性･変化に応じた専門的なサービス提供（評価項目 11～27）		・アセスメントで、ケアマネ以外の他のスタッフも聞き取り行い、ケア内容を深め、目標・計画に反映する。 ・今後の状況変化の予測・リスク管理を具体的に挙げ、スタッフがイメージできるよう検討会などで議論する。
	２．多機関・多職種との連携（評価項目 28～31）		・・在宅生活への円滑な移行支援の継続 ・スタッフ間で情報共有を図り、状態の変動に合わせたサービス提供の検討・実践・考察 ・夜間・緊急時対応の継続
	３.誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画（評価項目 32～41）		・地域行事への積極的参加 ・外出行事などで、地域ボランティアの方の協力依頼する。そのような機会に事業所の活動を見てもらい理解を深めていただき、必要とされる時に声をかけらてもらえるようにする
Ⅲ．結果評価 （評価項目 42～44）			・利用者ごとのニーズを把握し、他職種での情報共有を図っていく

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表［事業所自己評価・運営推進会議における評価］

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
Ⅰ　事業運営の評価［適切な事業運営］							
（1）理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている		○			理念を明確にして事業所内に掲げられている。	✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] ・癌末期・看取り利用者を受け入れしている。 ・機能維持を目的とした、生活の中で行えるリハビリの実施。 ・医療ニーズ・利用者の状況に応じてサービス内容の調整を行っている					
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	○				理念を明確にして事業所内に掲げられている。	✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] **・朝礼時には理念の唱和をして意識を高め、実践・努力している** **・なるべく家で過ごせるように地域の活動に取り組めるようにしている**					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
（2）人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	○					✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] ・面談を行い目標や育成計画書を設定し作成している ・各スタッフが研修計画をもとに、研修会・勉強会に参加している。 ・研修会参加後は、ミーティングで発表し意見交換している					
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	○					✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・法人内外の研修案内が閲覧でき、自発的に参加できる機会を得ている。 ・勉強会や研修参加後は、会議やミーティングで発表している ・参加については、研修目標、計画に基づいて、個人で研修参加している。また法人全体で、必須で学ぶ研修は全員参加					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
		し専門技術・日常業務の向上に努めている。					
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている					・職種間の情報交換の機会が多く、意見交換が行えている。	✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
		[具体的な状況・取組内容] ・毎日の朝礼・終礼で当日勤務スタッフが顔を合わせ情報の共有をしている ・月２回のミーティングでケース会議を行っている ・日報、分担表・各会議録でなどの紙面でも情報確認し会議欠席者も情報共有できるようにしている。					
（3）組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている		○				✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・会議の議事録に目を通し、要望等を対業務反映できるよう努力している。 ・今回の自己評価では、スタッフによって会議の内容把握が不十分（会議録の存					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
		在が曖昧）な者もいるので、会議の報告を強化し、意見を反映していきたい。					
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	○					✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます
		[具体的な状況・取組内容] ・就業規則に基づき環境整えている。また分担など負担に対する意見を言いやすい環境(人間関係)ではある。 ・介助量多い方、危険を伴う介助は、福祉用具の使用や専門職の意見に基づいた介助・2人介助を行っている。 ・夜間やオンコール対応介護で不安があれば所長や看護師の意見を聞くことができる。					
（4）情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	○					✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の２つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・申し送りや日報などで共有している。必要に応じて職員間でコミュニケーションとり合っている。					

番号	評価項目	事業所自己評価 よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		・モニタリングや会議で情報について随時検討する機会も設けている。					
（5）安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	○					✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます
		[具体的な状況・取組内容] ・事故やインシデント発生時は報告書を作成し、再発防止にむけて情報共有・竿発防止の対策の検討会議をしている ・法人や介護事業部でケア安全対策・交通安全・防犯対策・個人情報保護の研修会があるので、参加して知識や対策を学んでいる。 ・防犯等不安がある場合は、ミーティングなどで問題提起し対策を考えている。					
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている		○				✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケア
		[具体的な状況・取組内容] ・緊急時の対応はカルテやマニュアルに沿って対応している。 ・年２回避難訓練も実施、年１回地域の					

番号	評価項目	事業所自己評価 よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない	運営推進会議における評価コメント記入欄	評価の視点・評価にあたっての補足
		防災訓練に参加している ・緊急時対応・防災研修会も実施している					のマニュアル化」などが考えられます
Ⅱ　サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
（1）利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている		○				✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等を含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
		[具体的な状況・取組内容] ・アセスメントは行えている。 ・どのように過ごしているかアセスメントを行っているが、家族などを含めた暮らしのアセスメントはもう少し深めてもいいと思われる。 ・サービス提供時間外で家族の不安があれば電話対応や緊急対応をしている。					
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	○					✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で
		[具体的な状況・取組内容] ・終礼、会議などの話し合い両職種間で共有している。 ・記録として、日報やカルテを利用し、					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
		いつでも見れるようにしている。 ・それぞれの専門性の理解は、これからも深めていきたい					共有されることが望ましいといえます
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている		○				✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
		[具体的な状況・取組内容] **・送迎時や利用者との会話、その日あった出来事はカルテ・日報に記録し、把握できるようにしている。計画作成担当者が、月1回の訪問を行いモニタリングを実施。スタッフからの情報も併せて、計画内容について検討、確認、作成を行っている。**					
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている		○				✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
		[具体的な状況・取組内容] ・作成された計画に基づきケアを行い、適宜見直している。 ・出来る能力を維持できるように、個々の能力に応じた活動について計画している。 ・認知症の対応は、日々見直していく必要がある。					
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている		○				✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の２つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
		[具体的な状況・取組内容] ・主治医や看護側からの意見を聞きとり業務に取り組んでいる。予後予測は多種多様でその都度学んでいく必要がある。					
（2）利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	○					✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の２つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・来所時に状況確認、連絡帳をチェックし、変化を早期に把握し適宜対応できるようにしている。 ・状態の変化があった場合は、朝礼・終礼などの場で、職員間で情報を共有し、CM と連携し計画変更している。 ・毎月モニタリングで月の変化も確認している。					
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切		○				✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
	に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	**[具体的な状況・取組内容]** ・９割の利用者で訪問介護、訪問看護のどちらかで介入し、利用者・家族とのやり取りを通じて生活状況の把握に努めている。 ・訪問サービスがない利用者には、ケアマネが定期訪問と、送迎時に聴き取りや連絡帳のやり取りで確認している。					な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	○					✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・毎月のモニタリングで職種間の情報共有を行っている。主治医や家族など外部やり取りがあれば、その都度日報や終礼等で確認している。 ・家族とは、緊急度に応じて連絡帳や電話連絡、送迎時の報告を通じて情報共有し、主治医など外部とのやり取りも、緊急度に応じて、電話や利用状況報告書等の書類を通じて情報共有している。					
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	○					✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
		[具体的な状況・取組内容] ・介護職・看護職種間での情報共有し、専門性を活かして役割分担が行なえている。また各々の役割はあるが、臨機応変に対応し円滑に業務が行なえている。					
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	○					✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・朝礼・終礼、日々のケアの中で互いの気付き等意見交換を行い、対応について何が必要か？今すべきことは等話し合っている。 月１回～２回の定期ミーティングで利用者の状態について、変化等情報の確認、共有をおこない対応について検討している。					
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予	○					✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」につ

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
	測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	**[具体的な状況・取組内容]** ・看護師から、ケースに応じて専門的な情報提供はある。終礼や日常業務の中で、必要に応じて行っている。 ・また、感染やその他勉強会に参加し、専門的な知識・情報の収集に努めている。 ・委員会主催の勉強会で、感染対策やリスク管理を学ぶ場もある。					いて、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の１つとして期待されます
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	○					✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・ケア時の会話や活動を通じ、理解を得てもらえるよう努力している。 ・また家族にも、送迎時の報告や連絡帳、電話報告を通じて、その日の出来事や状況を理解してもらえるよう努力している。					
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向け		○				✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
	て留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	**[具体的な状況・取組内容]** ・介護計画に沿って、療養生活の継続に向け留意すべき点について説明し理解を得られるよう努力している。 ・利用者、家族から受けた質問に対しては説明を行っている。在宅での留意すべき点は都度、対話、電話・連絡帳を通じて理解を得られるよう努力している。 ・利用者、家族によっては伝え方に工夫が必要な場合がある。					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	○					✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・医療処置や医療機器の取り扱い方法については看護師が対応している。 ・家族からの質問は、訪問時や連絡帳・電話などの連絡手段を通じて、理解を得られるように努力している。 ・介護職からも利用者の状態等で情報提供をしたりしている。					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族	○					✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価 よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
	等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	**[具体的な状況・取組内容]** ・利用者との会話や行動を通じて、希望や意向を把握しサービスに反映できるように努力している。 ・家族とも送迎時の報告や電話、連絡帳、書類を通じて確認し、利用者－家族間で行き違いがないよう努力している。					
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている		○				✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・生活状況の変化や、会話等のやり取りを通じて状況を把握し、不安があることは終礼などで情報共有している。 ・変化のあった時などは適宜 CM、家族に相談し対応している。 ・家族によって伝え方などの工夫が必要である。					
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	○					✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の２つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
		[具体的な状況・取組内容] 計画作成担当者・護師が必要に応じて受診同行を行い、身体状態や今後の経過についての説明を家族と共に受けるようにしている。適切な時期を見計らいながら、					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
		予後、経過について家族の気持ちを考えながら説明を行っている ・記録についてはカルテに記入している。 内容については、書面にて共有している。					
2. 多機関・多職種との連携							
（1）病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している		○				✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
		[具体的な状況・取組内容] ・ケアマネ中心に行えている。看護師、介護士からも必要に応じて行っている。 ・退院前カンファレンスに多職種で参加する機会も増えている。					
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている	○					✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
		[具体的な状況・取組内容] ・カルテの表紙に緊急時連絡先を表示しすぐに対応できるようにしている。 ・緊急時の対応方針はスタッフ間で随時情報の共有を行っている。 ・緊急時主治医とはケアマネを中心にや					

番号	評価項目	事業所自己評価 よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない	運営推進会議における評価コメント記入欄	評価の視点・評価にあたっての補足
		りとりし確認・共有している。					
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている		○				✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・訪看サービス有無や主治医の連絡先はカルテに記載されている。 ・またオンコール対応で利用者、家族といつでもやり取りできるようにしている ・緊急場面の対応は多くないので、普段の場面から確認していきたい。					
（2）多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	○					✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象で
		[具体的な状況・取組内容] ・２ヶ月に１度運営推進会議を開催し、自治会長・民生委員・地域包括支援センターのスタッフ・家族に出席してもらっている。 ・会議では、運営状況・活動の報告を行い、意見をいただいている。 ・会議録は全スタッフが閲覧できる。情					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりできていない	全く できていない		
		報を共有している。取り組み改善の意見を参考に業務改善へ努力している。					す
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
（1）地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている		○				✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の２つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・玄関にも最新の議事録を掲示し、誰でも見られる状況になっている。 ・会議録はファイリングし、スタッフはいつでも閲覧はできる状況になっている。この状況を知らないスタッフもいたので周知した。					
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている			○			✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
		[具体的な状況・取組内容] ・HP で情報発信ができる環境があるが更新が進んでいない状況である。 ・広報誌は月１回発行している。 ・運営推進会議や地域行事参加での交流は行なっているが、積極性は乏しいかと					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
		思われる。					
（2）医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している						✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施してないていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・指定なし					
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている			○			✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よく
		[具体的な状況・取組内容] ・現在、看護師の他に介護士喀痰吸引講習修了スタッフが１名という状況で、受け入れは積極的には行なえていない。特					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
		に夜間の体制を整える必要がある。 ・介護職で喀痰吸引ができるように研修受講は勧めている。					できている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている				○		✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・人工呼吸器の受け入れ実績なし。 ・人工呼吸器の設備はない。					
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている		○				✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・主治医・医療機関と連携を図り、受け入れしている。 ・受け入れ前には、病状や予後をミーティングにてスタッフが勉強・相談して受け入れ態勢を整えている。。 ・注意事項も書面に残し、全スタッフが情報をみれる環境になっている。 ・介護士による夜勤時は、何かあれば看護師に連絡できる体制ができている。					
（3）地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している		○			嶋田病院を母体とする医療法人健康会に属し、地域包括ケアシステムへの構築に尽力している。今後も地域との関わりを密に行い、高見を目指してほしい。	✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などがない場合は、「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] ・介護事業部主催による研修会があり、参加することで理解を深めている。 ・研修に参加し地域包括ケアシステムの内容等について勉強している。行政の説明会も代表者が参加し、各職員に伝達している。 ・これからも理解を深めていきたい。					
② サービス提供における、（特定の建物等に限定しない）地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	○					✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] ・受け入れ相談の時点で実施地域を確認し対応している。特定の集合住宅などに限定していない。					
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている		○				✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] 運営推進会議を通じて適宜対応している。課題提起などについては地域の問題も併せて考えて行けるように努力したい。 ・また、職場以外で日常場面の地域行事で、看護師として知識を生かし問題点や改善点を提案している。					
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている			○			✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されま
		[具体的な状況・取組内容] **・看護職・介護職としての知識を生かし取り介助の工夫や指示、アドバイスを行っている。現在、家族に向けての取り組みが主であり、近隣住民に対する取り組みは課題である。**					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
							す ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ　結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	１．ほぼ全ての利用者について、達成されている ２．利用者の２/３くらいについて、達成されている ３．利用者の１/３くらいについて、達成されている ４．利用者の１/３には満たない **[具体的な状況・取組内容]** ・計画目標の達成は、ほぼ全ての利用者について達成出来ているが、利用者の希望の変化に計画目標が柔軟に対応できるようにしていきたい。	・利用者、家族の状況に合わせたサービス計画の立案、サービス提供を行うことが出来ており、安心感が得られている。今後も個々人の状況に応じたサービス提供をお願いします。	✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が	１．ほぼ全ての利用者について、達成されている ２．利用者の２/３くらいについて、達成されている ３．利用者の１/３くらいについて、達成されている ４．利用者の１/３には満たない	医療ニーズの高い方の受け入れについては、スタッフの教育、育成が課題と思われます。今後も個々人の状	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」に

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価コメント記入欄	評価の視点・評価にあたっての補足
	得られている	[具体的な状況・取組内容] **・医療・介護サービスを提供し継続的に安心感が得られるように心がけている。** **・利用者には単身や介護力が不足している環境も多く、柔軟で綿密な対応が必要である。**	況に応じたサービス提供をお願いします。	ついて、評価します
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	１．ほぼ全ての利用者について、達成されている ２．利用者の２/３くらいについて、達成されている ３．利用者の１/３くらいについて、達成されている ４．利用者の１/３には満たない ５．看取りの希望者はいない [具体的な状況・取組内容] 今までの利用者の中で、在宅看取り希望の方少ないが、本人、家族の意向、要望に沿うことが出来るように取り組みを行うことが出来た。ご家族からも、入院している時と違う様子をみることが出来良かったとの言葉をもらうことが出来ました。これからもかかりつけ医・本人・家族・他職種間との連携を深めていきたい。	在宅生活の継続の可否や終末期ケア、今後の状況を予測し具体的な意向確認や事業所での話し合い等を行っていくことを継続してもらいたい。	✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「５．看取りの希望者はいない」